

令和2年度 港区政策評価シート

1 政策名・所管部門

政策No.	9	環境負荷の少ない都心づくりを進める	
所管部	環境リサイクル支援部	関係部	

2 政策がめざす方向性

民間建築物の所有者等に対する省エネルギーの取組の促進、区民、事業者に対する省エネルギーの啓発などとおして、地球温暖化の主要因となる二酸化炭素の排出量を抑制するとともに、緑化や路面温度の低減などの暑さ対策を進め、ヒートアイランド現象による気温の上昇を抑制し、環境負荷の少ない都心づくりを進めます。有害化学物質の適正管理や事業活動に伴う騒音、振動、悪臭などの発生を防止し、誰もが健康で安全に快適に過ごすことができる生活環境を確保します。

3 施策の取組状況（詳細別紙施策評価シート）

評価区分 A（達成）、B（概ね達成）、C（達成が不十分）

①	施策名	地球温暖化対策の推進	評価	A
	成果目標	低炭素化を促進する取組により、地球温暖化の防止に寄与している		
②	施策名	ヒートアイランド対策の推進	評価	A
	成果目標	ヒートアイランド現象の緩和に寄与している		
③	施策名	健康で安全な生活環境の確保	評価	A
	成果目標	騒音、振動、悪臭などに悩まされることのない生活環境が確保されている		
④	施策名		評価	
	成果目標			
⑤	施策名		評価	
	成果目標			
⑥	施策名		評価	
	成果目標			

4 予算額・決算額・執行率（単位：千円）

年度	平成30(2018)年度	令和元(2019)年度	令和2(2020)年度
予算額	500,362	437,496	334,904
流用・補正	△ 219,893	7,636	—
決算額	252,731	324,836	—
執行率	90.1%	73.0%	—

予算・決算額の推移

- ・道路における遮熱性舗装等の整備や公園等におけるミストを活用したクールスポットの設置など、東京2020大会を見据えたヒートアイランド対策実施のため、令和元年度までの予算額が大きくなっており、特に令和元年度は決算額が大きく増加しました。
- ・令和2年度は、羽田空港新飛行経路等に関連する航空機騒音測定調査に係る予算や次期計画策定に係る予算が増加しましたが、令和元年度で東京2020大会に向けた道路整備が終了したことにより、予算額は減っています。

5 政策を取り巻く社会経済状況等

計画期間中の社会経済状況等の変化 ・社会経済状況 ・人口動向（年少人口、生産年齢人口、老年人口） ・財政状況など	・平成30（2018）年に「気候変動適応法」が公布され、これに基づく「気候変動適応計画」が同年11月に閣議決定されました。また、温室効果ガス排出の長期削減に向けた考え方として、令和元（2019）年6月に閣議決定された「パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略」では、最終到達点として「脱炭素社会」を目指すという野心的なビジョンが示されました。東京都では、「世界の大都市の責務として1.5℃を追求し、2050年までにCO₂排出実質ゼロに貢献する『ゼロエミッション東京』を実現すること」を、令和元（2019）年5月に発表し、その実現に向けたビジョンと具体的な取組・ロードマップをまとめた「ゼロエミッション東京戦略」を同年12月に策定しました。 ・東京2020大会後も港区内で大規模な開発事業等が見込まれるため、工事に伴う騒音や振動に対する苦情増加の可能性があります。また、開発事業等により解体工事等の件数が増えると考えられるため、アスベスト分析・除去の助成金の需要も高まる可能性があります。
区民ニーズ等 ※区民アンケートや調査、区民から寄せられた意見等	・創エネルギー・省エネルギー機器等設置費助成金については多くの区民及び事業者等の申請があり、継続して高いニーズがあります。 ・緑のカーテンプロジェクトにおける苗の配布会では、各会場で行列ができるほど人気を博しています。 ・アスベスト対策費助成金については申請件数が増加傾向にあり、ニーズは高まっていると思われます。

6 一次評価（所管部門による評価）

	施策の達成度 A:達成 3 B:概ね達成 0 C:達成が不十分 0
政策の達成状況	・区は、地球温暖化の主要因となる二酸化炭素の排出量が都内で最も多いですが、区民や事業者に対する各施策の推進により、近年はその排出量が減少しています。 ・騒音振動や悪臭に関する苦情については各地区総合支所と連携して対応し、苦情件数も減りつつあります。
今後の政策の方向性 重点的・優先的に取り組む施策、課題等 ※国や東京都、他団体の動向、区民ニーズ等を踏まえる	・国や世界における地球温暖化対策の動向を注視するとともに、国が掲げる脱炭素社会の早期実現のため、区の実施を確実に推進するとともに、気候変動緩和に係る施策の拡充を検討します。 ・東京2020大会を見据えて実施してきたヒートアイランド対策についても、区内のホットスポットにおける道路の遮熱性舗装・保水性舗装の整備等、引き続き取組を推進していく必要があります。 ・開発事業等による工事件数の増加に伴い騒音振動の苦情も増加すると考えられるので、今後も各地区総合支所との連携をより強化し、苦情に柔軟に対応できるように体制を整えていきます。

7 二次評価（港区行政評価委員会による評価）

	☒ A:達成 ☐ B:概ね達成 ☐ C:達成が不十分
政策の達成度	・全ての施策について、大半の活動指標が目標に達しており、成果目標を達成しています。 ・区内の二酸化炭素排出量が削減されていることは評価できます。 ・施策「地球温暖化対策の推進」の活動指標「燃料電池自動車導入費助成」については、制度としての目的を達成して終了しているため、達成状況は「－」とします。
今後の政策の方向性 重点的に取り組む施策・課題	・「港区民の生活環境を守る建築物の低炭素化の促進に関する条例」の令和3年4月からの施行を踏まえ、引き続き低炭素化の取組を推進する必要があります。 ・クールスポットの整備については、東京2020大会に向けて設置し、事業が完了していますが、ヒートアイランド対策は継続して取り組む必要があります。

施策評価シート

施策① 地球温暖化対策の推進					A：達成、B：概ね達成、C：達成が不十分	
施策担当課	地球温暖化対策担当	関係課	都市計画課		評価	A：達成
成果目標	低炭素化を促進する取組により、地球温暖化の防止に寄与している					
成果目標の達成状況及び評価	港区は、地球温暖化の主要因となる二酸化炭素の排出量が都内で最も多いですが、区民や事業者に対する各施策の推進により、近年はその排出量が減少しています。					
今後の施策の方向性・課題	今後も港区の地域特性に合わせた効果的な施策を推進することで、二酸化炭素の排出量の更なる削減に取り組む必要があります。					
施策の推進のため取り組んでいる事業						
1 民間建築物の省エネルギー化の推進					地球温暖化対策担当	
活動指標	H29（2017） （当初）	R2（2020） （目標）	H30（2018） （実績）	R元（2019） （実績）	R2（2020） （予測）	達成状況
省エネ推進ビル事業所数	59棟	104棟	76棟 （+17棟/年）	90棟 （+14棟/年）	105棟 （+15棟/年）	A：達成
達成状況	個々の建築物のニーズにあった省エネ診断を行うことで、中小規模事業所の省エネルギー化を推進することができています。					
今後の方向性・課題	中小規模事業所の二酸化炭素排出量への対策は、今後も継続する必要性があり、引き続き中小規模事業所に対して省エネルギー化を推進します。					
2 創エネルギー・省エネルギー機器等設置費助成					地球温暖化対策担当	
活動指標	H29（2017） （当初）	R2（2020） （目標）	H30（2018） （実績）	R元（2019） （実績）	R2（2020） （予測）	達成状況
助成件数	4,401件	6,051件	4,824件 （+423件/年）	5,261件 （+437件/年）	5,691件 （+430件/年）	A：達成
達成状況	LED照明の社会的普及なども踏まえ、平成30年度からは、管理組合向けのLED照明の購入なども助成の対象とするなど、創エネルギー・省エネルギー機器の購入を助成することで温室効果ガスの排出量の削減に繋がっています。					
今後の方向性・課題	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、在宅時間が増加しているため、家庭内での省エネルギーや節電に繋がる機器の助成の必要性が高まっています。					
3 区民・事業者に対する省エネルギー啓発					地球温暖化対策担当	
活動指標	H29（2017） （当初）	R2（2020） （目標）	H30（2018） （実績）	R元（2019） （実績）	R2（2020） （予測）	達成状況
省エネルギーセミナー参加者数	247人/年	320人/年	224人/年	179人/年	0/年	B：概ね達成
達成状況	区民及び事業者向け省エネセミナーは令和元年度で廃止し、家庭向け省エネセミナーを令和2年度から実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、事業実施の見込みが立っていません。					
今後の方向性・課題	参加者の増加及び省エネの取組に対する関心を一層高めるため、セミナーの内容や実施方法等を見直していく必要があります。					

4低炭素まちづくりの推進

都市計画課

活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況
大型街路灯のLED照明導入数	843基	1,165基	952基 (+109基/年)	1082基 (+130基/年)	1168基 (+86基/年)	A：達成
達成状況	平成30年度及び令和元年度の大型街路灯のLED照明の導入数は、順調に増加しており、令和2年度に目標を達成できる見込みです。					
今後の方向性・課題	令和2年度の目標は達成する見込みですが、今後道路整備を予定している路線など未整備となっている箇所があります。引き続き二酸化炭素の削減が期待できるLED化を推進していきます。					

5水素エネルギーの普及促進

地球温暖化対策担当

活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況
燃料電池自動車導入費助成	－	15件	5件 (+5件/年)	－	－	－
達成状況	燃料電池自動車導入費の助成を平成30年度から開始しましたが、国及び都の補助金に加え、平成30年夏頃から開始した自動車メーカーの購入代金支払制度の活用により、購入者の負担がガソリン車と同程度の安価となり、購入希望者が増加したことから、制度創設の目的は達成したとして平成31年3月に終了しました。					
今後の方向性・課題	引き続き、家庭用燃料電池システム（エネファーム）の導入支援やエネルギー施設見学会など各種イベントでの情報提供等により、水素エネルギーの普及促進を図ります。					

施策評価シート

施策② ヒートアイランド対策の推進					A：達成、B：概ね達成、C：達成が不十分	
施策担当課	環境課	関係課	地球温暖化対策担当、土木課		評価	A：達成
成果目標	ヒートアイランド現象の緩和に寄与している					
成果目標の達成状況及び評価	緑のカーテンプロジェクトでは、区有施設に「緑のカーテン」を設置したほか、苗の無料配布とともに講習会を実施し、壁面緑化などを活用した省エネルギー型のライフスタイルを啓発しました。また、道路を遮熱性舗装や保水性舗装に整備するとともに、散水車による路面散水や住民と協力して打ち水などを実施しました。来街者の多い広場等において、ミストを活用したクールスポットを整備しました。					
今後の施策の方向性・課題	港区は建築物や道路などから昼夜を問わず人工排熱が放出されていることから、今後も引き続き、緑化や省エネルギー型ライフスタイルの啓発などの効果的な施策を推進することで、ヒートアイランド対策に取り組む必要があります。					
施策の推進のため取り組んでいる事業						
1 緑のカーテンプロジェクトの推進					地球温暖化対策担当	
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況
緑のカーテン講習会参加者数	1,733人	2,483人	1,894人 (+161人/年)	2,037人 (+143人/年)	-	A：達成
達成状況	緑のカーテン講習会を行うことにより、省エネルギー・節電対策の意識が高まりました。また、区内施設でも緑のカーテンの設置を行い建物温度の上昇を抑制しました。令和2年度は、緑のカーテン講習会による目的は達成したと判断し、苗の配布会のみ行う予定となっておりますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止としました。					
今後の方向性・課題	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、今年は緑のカーテン用の苗の配布ができず、区内の施設でのみ緑のカーテンを設置します。施設や区民によっては、緑のカーテンが育たず、枯れてしまう場合もあるので、今後は緑のカーテンの成長を補助していく必要があります。					
2 遮熱性舗装等の推進					土木課	
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況
遮熱性舗装等の面積	99,746㎡	137,266㎡	107,476㎡ (+7,730㎡/年)	118,728㎡ (+11,252㎡/年)	124,991㎡ (+6,263㎡/年)	A：達成
達成状況	東京2020大会におけるマラソンコース周辺の区道を中心に整備を進め、目標を91%達成しました。					
今後の方向性・課題	引き続き、ヒートアイランド現象の緩和の一環として、区内のホットスポットを優先的に整備を推進します。					
3 クールスポットの整備					土木課	
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況
クールスポットの設置数	－	3か所	2か所 (+2か所/年)	3か所 (+1か所/年)	－	A：達成
達成状況	平成30年度は、新橋駅西口広場とお台場レインボー公園の2か所に設置すると共に、令和元年度は、芝公園に1か所設置しました。					
今後の方向性・課題	東京2020大会を見据え、予定通り3か所に設置しました。今後は、夏の暑さ対策として適切な運用に努めます。					

施策評価シート

施策③ 健康で安全な生活環境の確保						A：達成、B：概ね達成、C：達成が不十分	
施策担当課	環境課		関係課		評価	A：達成	
成果目標	騒音、振動、悪臭などに悩まされることのない生活環境が確保されている						
成果目標の達成状況及び評価	適正管理化学物質を使用している事業所の把握や、騒音・振動・悪臭の苦情件数の減少、アスベスト除去・分析の助成は目標を達成できています。これからの建物の解体件数の増加に伴い助成金の利用件数も増加すると考えられます。解体件数が増加すると騒音・振動の苦情も増加する可能性があるため、引き続き適正な指導を行います。						
今後の施策の方向性・課題	今後も大規模な開発事業等が見込まれるので、それに伴い解体工事も増加すると考えられます。そのため近隣との騒音トラブルの苦情が増加する可能性があります。解体工事についてはアスベストの影響を気にする声もあり、増加する可能性があります。今後も各地区総合支所と連携して対応に当たります。						
施策の推進のため取り組んでいる事業							
1 有害化学物質の適正管理の推進						環境課	
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況	
適正管理化学物質使用料報告書の提出件数	28件	34件	30件 (+2件/年)	30件 (±0件/年)	34件 (+4件/年)	A：達成	
達成状況	適正管理化学物質を年間100kg以上利用している工場・指定作業場の設置者から使用量等報告書の提出がなされている状況です。						
今後の方向性・課題	新たに設置の届出があった工場・指定作業場については、適正管理化学物質を年間100kg以上使用する場合は届出が必要であることを周知していきます。						
2 騒音、振動、悪臭などに対する指導の徹底と啓発の推進						環境課	
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況	
公害苦情件数	290件/年	275件/年	272件/年	269件/年	275件/年	A：達成	
達成状況	各地区総合支所と連携し対応に当たっており、毎年度苦情件数は減少しつつあります。						
今後の方向性・課題	今後も大規模な開発事業等が見込まれるので、解体工事等が増加する可能性があります。そのため近隣との騒音トラブルも増加すると考えられるので、今後も各地区総合支所と連携して対応に当たります。						
3 建築物解体工事等におけるアスベスト飛散防止の推進及び住宅等に対するアスベスト対策支援						環境課	
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況	
助成件数	1 件/年	2件/年	6件/年	9件/年	10件/年	A：達成	
達成状況	区が助成を行うことで、費用的な負担が軽減され、個人や中小企業者が適切にアスベスト対策を実施することができています。件数に関しても毎年増加しています。						
今後の方向性・課題	来年に控える東京2020大会や、港区内の再開発に向けて建物の解体が増加すると考えられ、それに伴いアスベスト除去・分析の件数も増加すると考えられます。						